

区別に所在する宗派別寺院数

宗派別 \ 区別	熱田区	北区	昭和区	千種区	天白区	中区	中川区	中村区	西区	東区	瑞穂区	緑区	港区	南区	名東区	守山区	計
真宗誠照寺派		1															1
真宗木辺派									1								1
時宗	1																1
臨済宗妙心寺派	5	4		4	2	9	2	4	6	6	1			1	2	1	47
臨済宗方広寺派			1														1
臨済宗永源寺派							1					1					2
臨済宗東福寺派										1						3	4
曹洞宗	17	20	13	14	11	34	16	13	21	9	10	13	12	11	5	8	227
如来教	1		1								2					1	5
黄檗宗		2		2		1		1									6
日蓮宗	6		4	9		8	5	10	4	15	4		3	2	2		72
日蓮正宗								1		1			1	1			4
顕本法華宗						1											1
法華宗(本門流)						1											1
法華宗(陣門流)		1							3	1				1			6
大乘教	2			1			1				1		1				6
本門仏立宗				2				2			1			1		1	7
在家日蓮宗浄風会		1															1
日本山妙法大僧伽				1													1
華嚴宗												1					1
単立	3	1	4	6			2	4	8		3		1	2	3		37
計	83	54	72	80	25	125	95	96	88	77	50	28	47	47	19	26	1012

1 名古屋の寺院の歴史的配置

まず、名古屋の寺院を創建された縁由えんゆ(ゆかり)で分類してみると、資料1のように五種に分けることができる。

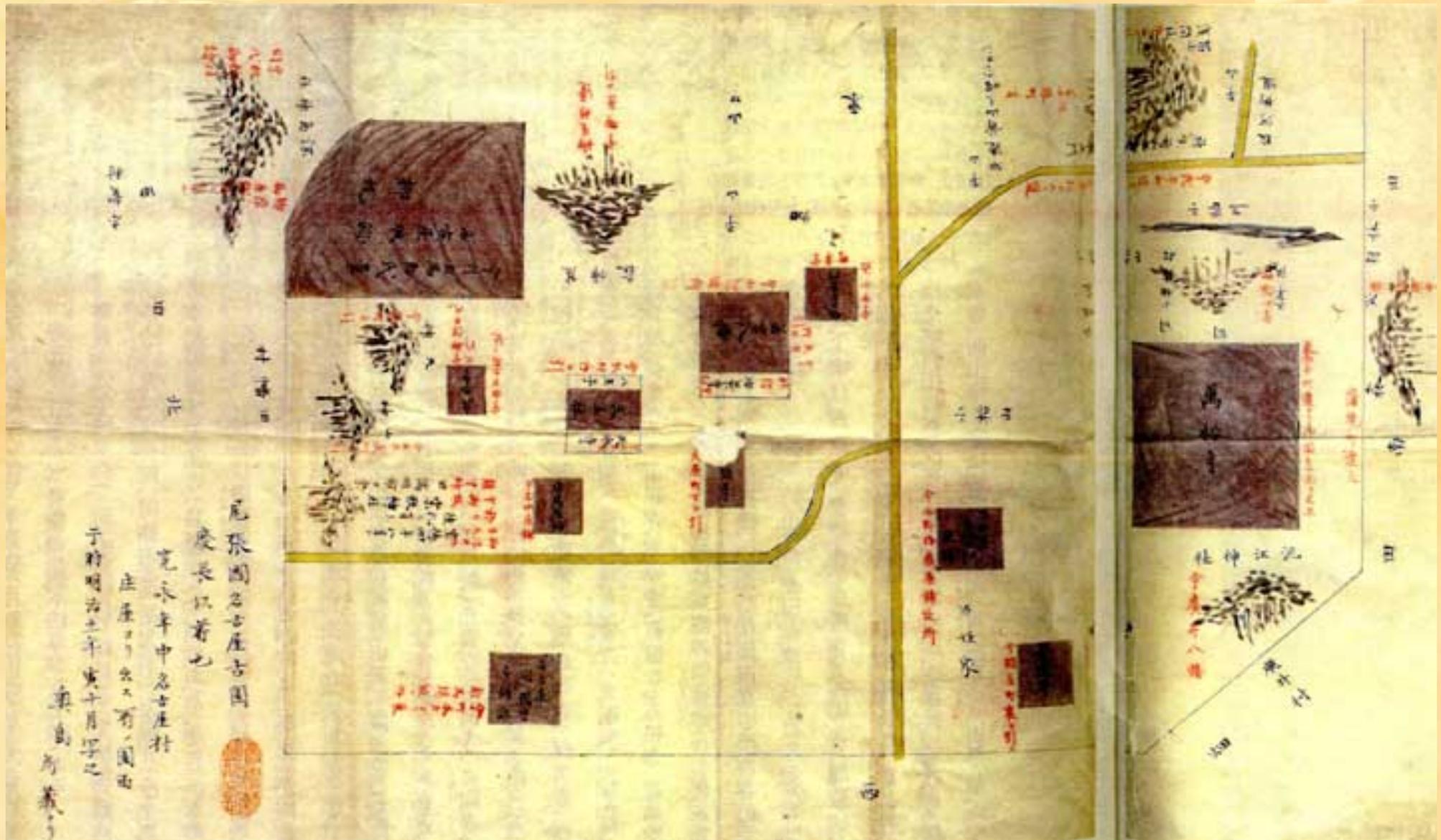
- (イ)慶長の遷府以前から所在している寺院
- (ロ)清須越の寺院
- (ハ)清須以外の地方より移転してきた寺院
- (ニ)慶長遷府後に造営された寺院
- (ホ)慶長遷府後に復興された寺院

創建された縁由による市内寺院の分類

縁由 \ 寺院数	全宗派	浄土真宗	曹洞宗
(イ) 遷府以前所在	21	4	7
(ロ) 清須越	24	21 (本派9、大谷派10、高田派2)	34
(ハ) 清須以外移転	45	27 (本派8、大谷派19)	0
(ニ) 遷府後造営	81	8 (本派1、大谷派5、高田派2)	11
(ホ) 遷府後復興	29	4 (本派1、大谷派3)	4
合計	300	64	56

慶長遷都府以前の名古屋の古地図

寛永年中（1624～44年）に庄屋より見出された図を、
明治11年（1878年）10月に再写したもの



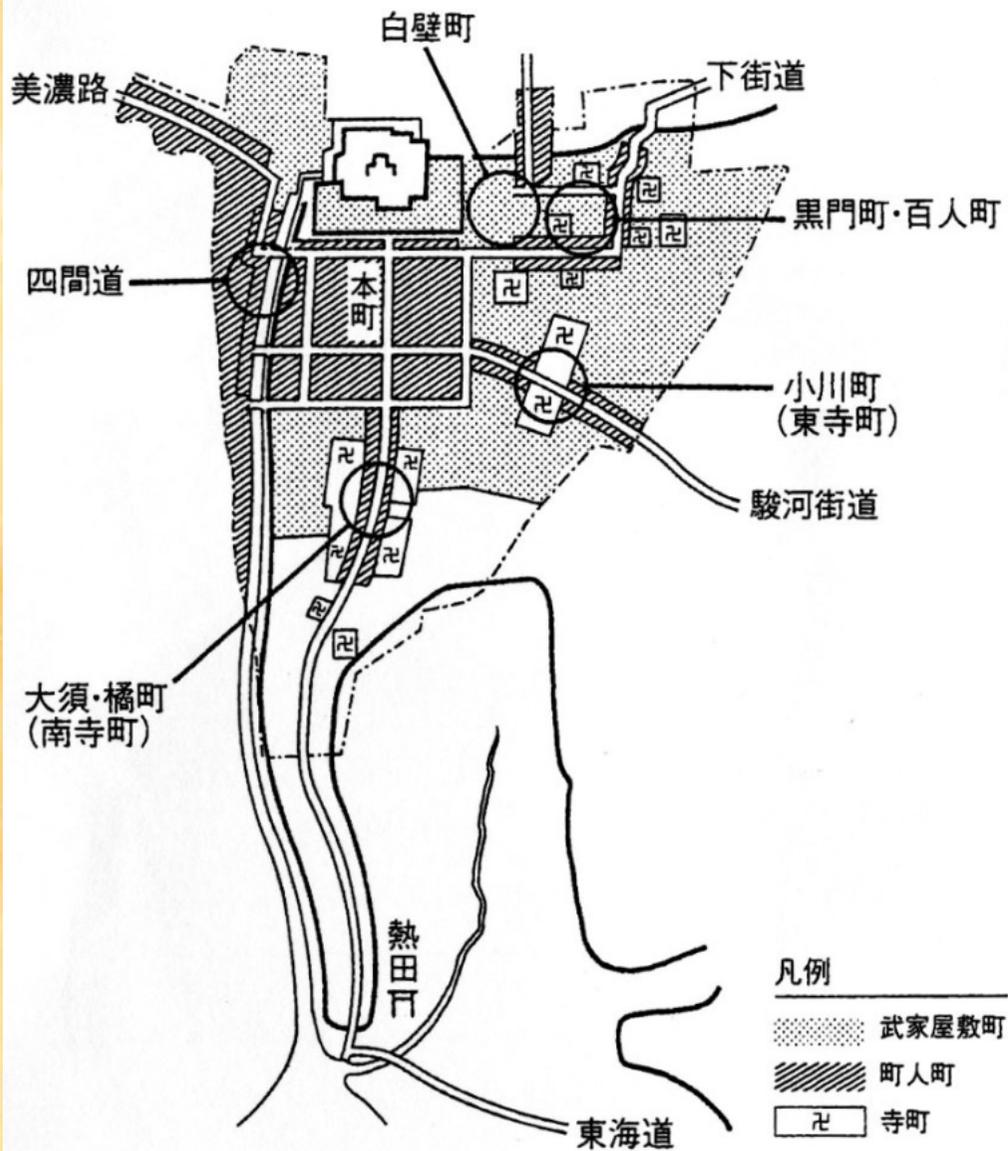
2 名古屋の寺院の地理的配置

名古屋の寺院の配置を地理的にながめてみると、武士が新しく建設した城下町であるところから、敵軍の来襲に備えて戦う、砦の効用が考えられている。その配置をながめると、次の三種に分類することができる。

(イ)名古屋の四方に通ずる街道の関門として配置された寺院

(ロ)集団的に配置された寺町寺院

(ハ)町を整備するために配置された寺院



(資料5) 城下町名古屋の構造と寺院の位置
(芥子川律治『家康がつくった革新名古屋』地産出版
<致知出版社> をもとに作成)